

## 協働提案実施事業最終評価表【令和4・5年度実施事業】

事業名	杉並区立男女平等推進センター・情報資料コーナーの整備と有効活用
事業内容	男女平等推進センターの情報・資料コーナーをより使いやすくすることで、図書や地域資料が活用され情報資料コーナーに係る利用満足度の向上と、利用者の増加を図るとともに、区民のジェンダー平等に関する理解と意識向上につなげる。
実施団体名	杉並女性団体連絡会
担当課	区民生活部男女共同参画担当課

	評価項目	評価の視点	評価点	評価点数
I	事業計画	① 事業は、2年間を通して課題・ニーズを把握のうえ、適切に計画・実施されたか。	A	5.00
II	協働への取り組み	② 対等な立場で、かつ互いの特性を生かしつつ、事業が進められたか。	A	4.57
		③ 事業の進捗等に応じて、必要な情報共有や議論等を行いながら対応できたか。	A	4.86
		④ 協働により実施した事業効果が得られたか。	A	4.57
III	事業の成果等	⑤ 事業を通じて、他の団体や組織等とのネットワークが広がったか。	B	4.43
		⑥ 想定していた事業の成果（目標）が認められたか。	A	4.71
		⑦ 事業の実施により受益者の満足度が向上したか。	A	4.71
IV	総合評価	⑧ 協働事業を実施する必要性や発展性が認められたか。	A	5.00
<b>総合評価（評価員の平均）</b>			<b>A</b>	<b>4.73</b>

### 【評価基準】

A	高く評価できる	5 ～4.45
B	評価できる	4.44～3.45
C	標準的である	3.44～2.45
D	どちらかといえば評価できない	2.44～1.45
E	評価できない	1.44～1

## 【総評】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、「A（高く評価できる）」と評価した。日本におけるジェンダーギャップは深刻な状況であり、自治体レベルからの改善も同時に求められる領域であろう。本事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されるなか、提案団体の熱意と活発な活動によって、協働の効果を大いに発揮し、事業目的を十分に達成できたと評価する。

協議会の委員からも活動を評価する意見が多く出された。なかでも、他部署との調整により、男女平等推進センター外の展示場所の確保に成功したことは、行政の縦割りを越えた活動に発展させたことを意味し、特筆すべき点であろう。くわえて、男女共同参画事業の意義を顧みれば、多くの住民への理解促進が要求されるべき領域であることから、ジェンダーや幅広い世代に向けたイベントの実施については、より一層の多様性が確保された区民参加につながる工夫を求めたい。

一方、担当部署をはじめ区に対する意見も出された。さらに広く区民の関心や理解の深化のためにも、男女平等推進センター内の資料の効果的な活用が目指されなければならない。そのために、同センターに所蔵されている文献や資料の貸し出し等の利便性の向上、また文化資源としてのそれらの保存、保管のあり方、若年層への理解促進のための教育関係機関との連携が課題として挙げられるだろう。しかし、こうした課題解決には担当課のみで解決することは困難であり、他の部署との連携が必要である。杉並区における男女共同参画事業の促進のためにも、管轄の縦割りを排した取組を今後の課題として提示したい。